

第四十三回帝國議會
衆議院

銀行條例中改正法律案外五件

銀行條例中改正法律案
貯蓄銀行條例中改正法律案
農工銀行法中改正法律案
日本興業銀行法中改正法律案
北海道拓殖銀行法中改正法律案
日本郵政銀行法中改正法律案

委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正九年七月十二日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

天春 文衛君 秋本 喜七君 木下成太郎君
赤田 瑳一君 久慈 貫一會 池田猪三次君
西村 伊亮君 阪上 貞信君 有馬 秀雄君
水野吉太郎君 齋藤 已三君 太田信治郎君
山邊 常重君 納富 陳平君 佐々木千秀君
村田虎之助君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省銀行局長 小野 義一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

銀行條例中改正法律案

貯蓄銀行條例中改正法律案

日本勸業銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

日本興業銀行法中改正法律案

○委員長(天春文衛君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス、先
ヅ銀行條件中ノ改正法律案、之ニ就テ御質疑ノ方ハ、御
質問ヲ願ヒマス

○佐々木千秀君 只今ハ銀行ノ條例ダケヲ、議題ニ附セ
ラレタ譯デアリマスカ

○委員長(天春文衛君) 先ヅ順序トシテ銀行條例カラヤ
リマス、併シ皆サンノ御希望ニ依リマシテハ、各案共ニ大抵
性質ノ同ジヤウナ改正案デゴザイマスカラ、ズト一應番外ノ
説明ヲ求メマシテモ宜シウゴザイマス

○佐々木千秀君 實ハ私モソレヲ希望致シタイト思ッ
居リマス

(「サウ云フ風ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○小野政府委員 ソレデハ私ヨリ大體御説明致シマス、
銀行條例貯蓄銀行條例ヲ併セテ一口ニ申シマスルト、
銀行ノ合併ヲ容易ナラシムル爲メニ、商法及現在ノ銀行法
規ニ變更ヲ加ヘントスルデアリマス、他ノ四ツノ銀行法
改正、即チ勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、及日本
興業銀行ノ此四ツノ特殊銀行法規ニ對スル改正ハ、後
程委シク述ベマスルガ、要スルニ是等ノ金融機關ノ機能ヲ
完全ニシテ、金融界ノ推移ニ應ジマシテ、其働キヲ十分ニ

致シタイト云フ精神カラ企テタモデアリマス、先ヅ順序ト
致シマシテ、銀行條例又貯蓄銀行條例ノ變更ヲ加ヘントス
ル理由ニ就テ申上ゲマスルガ、元來事業界及經濟界ノ推
移ニ伴ヒマシテ、企業ノ合同或ハ銀行ノ合同ト云フコトハ、
歐羅巴諸國ニ於テモ近來益々顯著ト相成ッテ居ルデアリ
マス、御參考マデニ英國其他ノ例ハ御目ニ懸ケマシタト存
ジマスガ、日本ノ實際ニ就キマシテモ、此最近銀行合同ノ
實例ガ頻繁ニ起ッテ居リマスルコトヲ、大體數字ヲ以テ御
參考ニ供シテアルト思ヒマスルガ銀行ノ合同ト云フコトニ
就キマシテハ、政府當局ニ於テモ餘程以前ヨリ其必要ヲ唱
道シテ參タノデアリマシテ、幸ニ銀行當業者ニ於キマシテモ
其必要ヲ自覺セラレテ、近來ハ是ガ實例ガ益々多クナッ
デアリマスガ、併シ近來此金融界ノ趨勢ヲ見マスルト云フ
ト、此銀行合併ト云フコトハ益々頻繁ニ行ハレテ、大變
其必要ヲ當局者間ニ於テ認メテ居リマス、之ニ就テハ
若シ法律上改正スヘキモノアラバ、或ハ勸令ナリ、省令ナ
リノ上ニ於テ改正スヘキモノガアラバ、サウシテ其改正ガ銀行
合併ヲ達成スル上ニ於テ便利デアルト認メルト云フ
ニ就キマシテモ、政府ニ於テ努メテ此點ヲ考慮致シテ居リ
マス、民間當業者ニ於テモ種々ナル考案ヲ政府側ニ提出シ
テ參タノデアリマス、茲ニ現ハレテ居リマスル所ノ此銀行
條例及貯蓄銀行條例ノ改正ハ、即チ主トシテ當業者ノ意
見ニ基キマシテ、政府ニ於テ立案ヲ致シタモノデアリマスガ、
之ニ依リマシテ合併ニ就テ要スル所ノ煩瑣ナル手續ヲ省
キマスルコト、又合併ノ手續ガ早ク進行致シタセヌガ爲メ
ニ、財產狀態ノ變化ト云フコトガ起リマスルコトヲ防ギタ
イ、成ベク迅速ニ合併ヲ運バセタイ、斯ウ云フ風ノ趣旨ヨリ
シテ改正ヲ致シタ所以デアリマス、第一ニ如何ナル點ヲ改
正致シテ居リマスルコト申シマスルコト云フト、商法ノ七十八條
ヲ御覽下サイマスルコト云フト、七十八條第二項ニハ「先
ヅ第一項ヨリ御覽ヲ願ヒマシタ方ガ連絡ガ取レテハ」カモ
知レマセウ、會社ガ合併ノ決議ヲ爲シタルコトハ其決議
日ヨリ二週間内ニ財產目錄及貸借對照表ヲ作ルコトヲ
要ス、其第二項トシテ「會社ハ前項ノ期間内ニ其債權者ニ
對シ異議アラバ一定ノ期間内ニ之ヲ述ベキ旨ヲ公告シ
且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スルコトヲ要ス但其
期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ヌ」此二項所謂債權者ト云
フ中ニハ勿論預金者ガ這入ッテ居ルデアリマス、然ルニ此

現行商法ノ規定ニ依リマスルコト云フト預金者ニ對シテモ
其債權者タルガ故ニ一々格別ニ催告ヲシナケレバナラス、
斯ウ云フコトニナッテ居ルデアリマス、ソレデアリマスカラ若
シ其合併ニ對シマシテ預金者ノ總數ニ對シテ、一々格別ニ
催告ヲ爲スベシト云フ現在ノ違方デアリマスルコト云フト、如
何ニモ銀行ニ取リマシテハ煩雜デアリマスルシ、又費用モ少
ナカラズ要スルシ致シマス、ソレデゴザイマス、元來此商法ノ七十
八條ノ規定ト申スノ債權者保護ノ趣旨ヨリ出タ規定デアリ
マセウト思フデアリマス、此銀行業者ニ就キマシテハ、大藏
省ニ於テ御承知ノ通り當時監督シテ居リマス、又合併ト
云フコトニ就キマシテハ豫メ大藏大臣ノ認可ヲ得テ之ニ取
掛ル、大藏大臣ヨリハ嚴重ナル調査ヲ爲シタ後ニ合併ヲ認
メルヤ否ヤト云フコトヲ規定シタル參ルデアリマスカラ預金
者トシテ客觀的利益ト云フモノハ、先ヅ大體既ニ保護サレ
テ居ルモノト見テ宜カラウト思フデアリマス、其上ニ尚ホ
預金者ト銀行トノ關係ハ申マデモナク、頗ル密接デアリ
マシテ、何モ格別特別ノ催告ヲ爲サズトモ、銀行ノ狀態ハ
預金者ニ於テ知ラナケレバナラス、理窟ニ於テモ亦實際ニ
於テモサウデアラウト思フデアリマス、サウ云フ事情デアリ
マスカラ、公告ノミヲ以テ異議ヲ申立ヲ申述ベル機會アリ
ルナラバ十分デアッテ、格別ノ催告ヲ要スルコト云フコトニナリ
スレバ、却テ手續ノ煩雜費用モ要スル、隨テ合併ニモ不便
ヲ來スト云フヤウナコトハ除ク方ガ宜カラウト云フ考ヲ以テ
マシテ、此改正案ニアリマスル通り、第二條ノ三トシテ「銀行
ノ事業ヲ營ム會社ガ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ商
法第七十八條第二項ノ規定ニ依リテ爲スヘキ催告ハ預金
者ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ要セス」斯ウ云フ工合ニ規定
致シタノデアリマス、ソレカラ續キマシテ右公告及催告ニ對
シテ異議ヲ申述ブベキ期間ハ、先程朗讀致シマシタ通り
「二箇月ヲ下ルコトヲ得ヌ」此二箇月ト云フ期間ハ長キニ
失スルダラウ、ソレガ爲メニ合併完了ヲ遅延セシメテ、銀行
ノ當業者ニ於テ迷惑ヲ及ボシ、又合併スル銀行雙方ノ資
產狀態其他ニ伴ッテ紛議ヲ生ズルコトモアラウト云フ點ヨ
リ致シマシテ、之ヲ一箇月マデ短縮スルコトヲ相當ト認メタ
ノデアリマス、尙オ合併ニ依リマスル株式公募ノ場合ニ於
テ、株券ヲ提供スベキ期間ト云フモノモ商法ノ二百二十五
條ノ二項及商法ノ二百二十條ノ二ノ但書ニ依リマスル
「三箇月ヲ下ルコトヲ得ヌ」トアリマスガ、是モ亦前ニ申述ベ

マシタ異議ノ申立期間ト同ジヤウニ之ヲ短縮スル必要ヲ認
メマシタノデ、同ジク一箇月ニシテ宜カラウ、斯ウ云フ工合
ニ改正ヲ企テタノデアリマス、ソレカラ次ニハ一寸通りマス
ガ今ノ株式公募ニ就テノ期間短縮ノコトハ即チ第二條ノ
四トシテ改正案ニ規定シテアリマス、銀行事業ヲ營ム會
社カ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ商法第七十八條
第二項但書ノ期間ハ一箇月迄之ヲ下スコトヲ得合併ニ
因ル株式合併ノ場合ニ於テ商法第二百二十條ノ二但書
ノ期間ニ付亦同シ、斯ウ云フ意味ニ於テ兩方共一箇月ニ
短縮シタルデアリマス、ソレカラ次ニハ此銀行ヲ營ンデ居リ
マス會社ガ、即チ普通銀行デアリマスガ、普通銀行ト貯蓄
銀行ヲ合併シテ存續致シマスル場合、之ヲ普通吸收合併
ト唱ヘテ居リマス、又普通銀行ト貯蓄銀行ト合併シテ普
通銀行ヲ新設スル、之ヲ新設合併ト唱ヘテ居リマス、此兩
方ノ場合ニ於キマシテ商法八十二條ノ規定ニ依リマス、
合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合
併ニ因リテ消滅シタル會社ノ權利義務ヲ承繼ス、斯ウ云フ
コトニナリテ居リマス、此規定ニ依リマシテ普通銀行ハ
消滅スベキ貯蓄銀行ノ權利義務ヲ承繼シテ之ヲ行使シ若
クハ履行スベキ所以デアリマス、然レドモ此存續致シマス
ル一存續致シテ新設致シマスルマデ此規定ニ就テハ、貯
蓄銀行デアリマスセカ、貯蓄預金者其他ノ保護ニ關スル
規定ノアリマスル即チ貯蓄銀行條例ノ規定ハ當然適用ス
ルコトカ出來ヌデアリマス、ソレデアリマスルカ、斯ナリ
マスルコト云フ一般ノ貯蓄銀行ニ對シテハ、嚴重ナル監督
ヲ致シテ居ルニ較ベマシテ、彼此權衡ヲ失スル嫌ニナリマ
スカ、從來ノ大藏省ノ取扱シテ監督上ノ處置トシテ、合
併前ニ貯蓄銀行カラ預金ヲ拂戻シ、其他ノ整理ヲ爲サシメ
テ、合併ヲ認メルコトニナリテ居リマス、是ハ當業者ノ頗ル
不便トスル所テ、從來度々苦情ヲ聽イテ居リマス、ソレデア
リマス、合併後新設スルコトカ、存續スル銀行ニ對シテ、供
託トカ、重役ノ無限責任ニ關スル等、貯蓄銀行條例ノ規定
ノ一部ヲ準用シテ、是ハ前ニ申上ゲタル大藏省ノ實際ノ取
扱ヲ省略スルコトニ致シマシタ、此點ハ第二條ノ五トシテ規
定シテアリマス、此第二項ノ但書ハ合併後存續シ新設スル
銀行ガ、株式會社以外ノ會社ノ場合ニ業務ヲ執行スル社
員ヲ、取締役ノ地位ニ立タシメヤウト云フ注意的ノ趣旨デ
アリマス、最後ニ貯蓄銀行條例ニ改正ヲ加ヘマシタノハ、即
チ第十條デアリマス、第十條ニ左ノ一項ヲ加フ銀行條例
第二條ノ三ノ規定ノ適用ニ付テハ第一條第二項第三號
ノ規定ニ依リ給付金ノ債權者ハ之ヲ預金者ト看做ス、是
ハ一寸分リ惡イ必要ノナイヤウナ規定デアリマス、所謂給
付金ノ債權者ハ預金者ト法律上見ルモノデナイ、預金ナラ

バ一定ノ金錢ヲ供託シテ、其返還ヲ受ケル利子ノ附ク附カ
ヌハ別トシテ、返還ヲ受ル此給付金ノ方ハ、一定ノ金額ヲ
受入レテ、一定ノ金額ヲ給付スル觀念デアリマス、預金
ノ拂戻シ受入トハ、法律上意味ガ違フト云フ見解カラシテ、
現在ニ於テモ貯蓄銀行條例ヲ御覽下サルト直ニ分ル通り、
銀行條例第一條第二項ノ一、二、三ト云フ所ヲ御覽下サ
ルト、一號ニ於テハ預金ニ對シテ受入ル、コト、二號ニ於テ
ハ數回ニ預金ヲ受入ル、コト、斯ウ云フ工合ニ明記シテ、之
ニハ此問題ニナリテ居ル給付金ニ就テハ、期限ヲ定メテ一定
ノ金額ノ給付ヲ爲スコトヲ要ス、即チ預金ニアラズト云フ觀
念ヲ明カニ致シテアリマス、ソレデアリマス、若シ今回ノ
改正ニ於テ此點ヲ其儘ニスルト、故障ヲ來シマス、此ノ
如キ規定ヲ置イタルデアリマス、銀行條例、及貯蓄銀行條
例ニ就テノ改正ノ要旨ハ右ノ通り御承知ヲ願ヒマシテ、次
ニ勸業銀行條例ノ改正ノ方ニ移リマス、是ハ逐條ニ入リマ
シテ御質問ノアルトキニ御答スル方ガ却テ重複ヲ避ケル所
以デアラウト思ヒマス、各條ノ改正ハ御尋ニ對シテ御答
スルコトニ致シマシテ、主タル點ヲ摘擧シ申上ゲマス、勸業
銀行ニ於テハ定期貸付金ノ限度ヲ改正致シマシタ、銀行ハ
定期貸付金ノ限度ハ、年賦償還貸付金ノ十分ノ一ニナリ
居リマス、一割ト制限サレテアリマス、之ハ解散セラレ
ヒタイト云フ、一議會ニ於テ、議員ノ方ニヨリ一ツ改正シテ
テ來タカラ、年賦貸付金ノ對スル割合ヲ擴張シテ十分ノ二
ニナシ、是非共擴張シテ貴ヒタイト云フ御意見ガ出タノデ
アリマス、政府トシテ此點ヲ種々研究シマシタ結果ガ、此
處ニ現ハレテ居ル通り、定期貸付金ヲ一拂込資本金及積
立金總高斯ウ云フコトニ限ルコトニ致シマシタ、是ハ元來
勸業銀行法ヲ制定スル當時ノ立法ノ精神ガ、年賦貸付金
ノ資源ハ之ヲ債券ニ待ツ、定期貸付ノ資源ハ資本金ニ待
ツ、斯ウ云フコトガ立法ノ精神ニハアリマシタ、ソレデア
ルノニ若シ要求セラル、通り——少シ申シ過ギマス、勸業銀
行法ニ於テノ直接ノ御要求ハ却テ農工銀行ノ方デ五分ノ
一ヲ、三分ノ一ニシテ貴ヒタイ併シス、勸業銀行法
ヲ相當擴張スルコトハ、權衡上當然デアリマス、其五分ノ
一ガ三分ノ一ニナルコトニナリマス、程度問題デ又是カ
ラ先キ二分ノ一ニスルカ、四分ノ三ニスルカ、而シテ此ガ爲
メニ法律ヲ弄クリ廻スコトニナルノガ、立法技術ノ上カラ見
テモ、政府トシテ俄ニ贊成ノ出來ヌ點デアリマス、ミナラズ、
先程申上ゲマシタル通り、立法當初ノ精神ト云フモノ
ガ、定期貸付金ハ其資源ヲ資本金ニ俟ツト云フコトデア
リマシタガ爲メニ、之ヲ法文ニ今回明示致シマシテ、サウシ

テ之ニ對シテ問題ヲ根本的ニ解決致シタイト云フ精神ヨ
リシテ、今般ノ改正ヲ見タノデアリマス、但シ積立金ハ先
ハ資本金ト同ジヤウニ見テ宜イデアリマス、所謂銀行
ノ株主勘定ト云フノニ入レルデアリマス、是ハ積立金
ハ資本金ニ見テ宜カラウ、サウ致シマシテ拂込資本金同様
ニ積立金ト云フモノ、貸付金ヲ定メタルデアリマス、サウ致
シマシテ從來ノ問題ヲ根本的ニ解決致シマシタルデアリマ
ス、之ニ依リマシテ當時ノ貸付金ノ限度ヲ擴張シテ貴ヒ
タイ云フ動機モ、サウ云フ精神デアッタト思ヒマス、現在ニ於
キマシテハ、農工銀行ニ於キマシテハ、五分ノ一ヲ三分ノ一
トスルト云フ程度ヨリモ、今般ノ改正ニ於テ拂込資金及積
立金ト云フノニ餘裕ガ出來タヤウデアリマス、此立法ノ精
神ヲ鮮明ニシタイト云フ趣旨ニ依リマシテ改正ヲシタルデ
アリマス、農工銀行ニ對シテ御希望ニ副フヤウニ、又立法ノ
精神ニ依リマシテ農工銀行ニ於テモ同様ニ改正ヲ致シマ
ス、ソレハ勸業銀行ニ於キマシテ只今申上ゲタヤウニ、改正
ヲ加ヘタト同ジコトニナリマス、ソレカラ其次ニハ耕地整理
組合聯合會ニ對シテハ、從來貸付ノ途ハナカッタデアリマ
ス、今同ソレヲ開クコトニ致シマシテ、是ハ餘り從來ヨリ
懸案トナリテ居ルヤウナ重大ノ問題デアリマス、第三ニハ
是ハヤカマシイ問題デ、農工銀行ニ關係ノアル方ハ御承知
デアリマセウ、此勸業銀行農工銀行ナリ貸付ト云フハ、
一番抵當貸付スルコト云フ法文ニ相成テ居ルデアリマス、
日本勸業銀行法ノ第十六條三日本勸業銀行ニ於テ抵當
ヲ徵スルキハ總テ第一抵當ナルコトヲ要ス、但シ舊債アル
場合ニ於テ日本勸業銀行ヨリ借入タル書類ヲ以テ舊債アル
償還スル效果ニ依リ新債ノ第一抵當ナルコトヲ得ヘキト
キハ此ノ限リニ在ラス、斯ノ如キ例外アル場合ハ別トシマシ
テ、原則トシテハ第一抵當デナケレバナラヌ、所謂一番抵當
デナケレバナラヌト云フコトガ、法文ノ上ニ現ハレテ居ル點ヨ
リ致シマシテ、如何ニ其抵當權ノ價額ニ餘裕ガアツテモ二
番乃至三番ト云フ貸増ハ許サナイト云フコトガ、法ノ文
理的解釋カラ見ルト餘程強イノデ、併ナガラ此銀行者ニ於
カレテハ甚ダ困ル、一番抵當ヲ勸業銀行農工銀行デ有シテ
居ルナラバ、二番乃至三番ハ何等害ナインデアル、法ノ精
神ヨリ勸業銀行、農工銀行ニ債券ヲ確保セシムル手段ニ外
ナラヌデアルカラ、勢ヒ餘裕ガアルナレバ貸増ヲ許スト云
フコトニシテ貴ヒタイト云フ意見モアリマシテ又政府ニ於テ
モ是ト同感デアリマシテ、サウ云フ解釋ヲ數年前カラ採
テ參タノデアリマス、所デ茲ニ實情ヲ申上ゲマス、登記
役場ノ方デ此法ノ文理的解釋ニ基クノデアリマセウ、總テ
第一抵當ナルヲ要ストアル以上ハ、二番乃至三番ハイカ
ナト云フ趣意ヲ以テ、登記ヲ拒マレタト云フ實例ガアル、併ナ

カラ他ノ登記所ニ於テ之ヲ受付ケテ居ルト云フ實例モアリマス、サウ云フ登記所ノ見解モアルヤウデアリマスカラ、從來ノ解釋ヲ此處デ法文ニ明カニシタイト云フ趣旨ヨリ致シマシテ、茲ニ改正ヲ企テタノハ第三ノ點デアリマス、斯ク改正ヲ致シマシタラバ、登記所ニ於キマシテ苦情モ起リマセヌダラウト思ヒマス、當業者ニ於テモ安心シテ貸増ガ出來ルト云フ結果ニナラウト思ヒマス、ソレカラ第四ノ點所謂年賦貸付金ノ償還期限ヲ、或特殊ノ場合ハ延長スルコトガ出來ルト云フコトニシタノデアリマス、是ハ前ノ四十一議會ニ於テ議員ノ方カラ御希望デアリマシテ、農工銀行ニ於テハ既ニモウ改正ヲ實現致シテ居リマス、此實情ヨリ見マシテ、勸業銀行ニ於テモ全ク同一ノ規定ヲ置イタ次第デアリマス、ソレカラ第五ニハ從來勸業銀行ガ引受ケテ居リマス、債券ハ、農工銀行ノ發行スル農工債券ト云フコトニナラ居タノデアリマシタガ、其他ニ北海道拓殖銀行及朝鮮殖産銀行ノ債券ヲモ加ヘマシテ、ソレデ此北海道拓殖銀行朝鮮殖産銀行等ノ便利ヲ増スコトニ致シマシタ、是モ諸君ノ御希望ヲ容ル、コトニ致シマシタノデアリマス、其他ニハ此北海道拓殖銀行、又ハ朝鮮殖産銀行ノ債券ヲ引受クルコトニ就キマシテ、ソレハ關係致シマシテ、勸業銀行ハ是カラ兩銀行ノ債券ヲ引受ケル時、其財産狀況ヲ調査スル權能ヲ與ヘルハ現ニ勸業銀行ガ農工銀行ニ對シテ調査ノ權能ヲ持テ居ルト同ジニ權能ヲ與ヘタノデアリマス、尙ホ御承知ノ通り勸業銀行ノ債券發行ノ限度ハ、現在ニ在テ十倍デアリマシタノヲ、之ヲ十五倍ト致シマシテ、其發行餘力ヲ増加スルコトニ致シマシタノデアリマス、此問題モ前ノ四十二議會ニ於テ、議員ノ方ヨリ農工銀行ニ對シテ五倍ヲ十倍ニシテ貴ヒタイト云フ御希望ガアツタノデアリマスガ、政府ニ於キマシテモ種々研究ノ結果、其御希望ニ副フコトニ致シマシテ、農工銀行ハ五倍ヲ十倍ニ致シ、勸業銀行ニ於キマシテハ十倍ヲ十五倍ニ致シタ、之ニ依リマシテ是カラ銀行ノ貸付資源ノ根本デアリマス、債券發行ノ限度ヲ高メマシテ、金融疏通ノ便ヲ——金融調達ノ便ヲ増スト云フコトニ致シタ次第デアリマス、尙ホ現在ニ於キマシテハ、割増付無記名勸業債券又ハ其利札ヲ喪失シタル者ハ、公明催告ノ方法ニ依テ居リマスガ、公明催告ノ手續ハ御承知ノ通り費用モ随分要シマス、又極僅カノ金額ニ就テノ權利ヲ確保致シマス爲メニ、比較的莫大ノ費用ヲ要スル、殆ド費用倒レニナル、又一ツハ是等ノ債券ヲ持テ居ル者ガ、公明催告ヲサレテ不意打ニ遭フト云フ實例モアルト云フ事デアリマシテ、此公明催告ノ方法ニ就テハ必シモ唯一ノ救済方法デナイト銀行業者ノ希望モアリマシテ此公明催告ノ方法モ認ムルガ、尙ホ其他

ノ救済方法モ考ヘ出シテ、之ヲ保護セシムル事ガ宜カラウト云フ考カラ、即チ四十二條ノ割増金付無記名勸業債券又ハ其利札ヲ喪失シタル者ハ擔保ヲ提供シ又ハ確實ナル保證人ヲ立テ其ノ元金割増金又ハ利子ノ仕拂ヲ請求スルコトヲ得「斯ウ云フ途ヲ開ク、是ガ即チ國債證券ニ就テハ其例ガアリマス、當業者ガ自分ノ便利上從來ノ公明催告ヲ採スルモ可ナリ、又四十二條ノ手段ニ出ヅルモ可ナリト、斯ウ云フ事ニ致シマシテ、勸業銀行法ノ改正ノ要點ハ、大體右ノ通りデアリマス、次ニ農工銀行ノ改正ニ就キマシテ、農工銀行ノ改正ノ第一ハ、現在農工銀行ノ年賦償還ノ貸付ハ其最長期間ガ三十箇年デアリマスガ、一體年賦償還ニ於ケルモノハ、先ツ理想カラ申シマス、債務者保護ト云フ理想カラ申シマス、成ル可ク期間ヲ長ウスル、サウシテ元利ヲ毎年少シシ、濟崩シヲスルノデアリマス、現勸業銀行、北海道拓殖銀行ハ最長期間ガ五十箇年ナラ居リマス、其等ノ權衡ヲ採リマシテ、又銀行業者ノ希望ヲ察シマシテ、今回三十年ヲ五十年ト致シマシタ、ソレカラ年賦償還貸付金總金高五十分ノ一ヲ定期貸付限度ト認メマシタガ、之ヲ先程述ベマシタ理由ニ依リテ、拂込資本金及積立金總高ト云フコトニ改正致シマシタ、尙ホ耕地整理組合アルノ耕地整理組合若ハ其聯合會ノ貸付ノ途ヲ開キマシタ、是ハ他ノ銀行法ノ主意ト同様デアリマス、其次ニハ貸付金額ノ事デアリマス、是モ前段申述ベタ通りデアリマス、次ハ二十條ノ改正デアリマス、現行法ニ依リマシテ無抵當借入ヲナシタル公共團體ガ、年賦金或ハ定期償還金、又利子ノ拂込期日ヲ經過シテ尙ホ拂込マナイ時ハ、監督官廳ノ處分ヲ請求スル事ヲ得ト云フ事ニナラ居ル、期限前ノ償還拂込ヲ爲ス時ノ規定ガ缺ケテ居ルノデアリマス、是ハ勸業銀行ニ於テハ既ニ之ヲ認メテ居ルノデアリマス、今回ノ改正ヲ機會ニ勸業銀行法ト同様ノ步調ヲ取ラシムルコトニシタノデアリマス、次ハ二十二條ノ改正デアリマス、二十二條ニ依リマス、定期預リ以外ノ預リ金ノ總額ハ、拂込資本金額ヲ超過スルヲ得ズトアリマシテ、總額ニ對シテ一ツノ限度ヲ設ケテ居ル、サウ致シマス、府縣郡市ヨリ預リノ公金ニ就キマシテモ、明文微リセバ今日定期預リ金以外ニハ、公金預金ハ拂込資金ヲ超過スル事ガ出來ナイト思ヒマス、併ナガラ斯云フ特殊ノモノニ付キマシテハ、特別ノ資金ヲ要スルカラ、此資金ヲ取テ貴ヒタイ、云フ當業者カラノ希望デアリマシテ、政府ニ於テハ此機會ニ公金預リ金ノ制限ヲ取ルト云フ事ニ致シマシタ、次ニハ債券發行ノ限度ヲ從來拂込資本額ノ五倍トアリマシタノヲ、十倍ト致シマシタ、其理由ハ前回申述ベタ通り農工銀行法ノ改正ハ大體右ノ通デアリマス、次ニ北海道拓殖銀行法ノ改正デアリマス、此内第一ハ

年賦償還貸付デアリマスガ、是ハ現行法ニ三十年トナラ居リマス、既ニ先程申述ベタ通り農工銀行、勸業銀行法ニ五十年トナラ居ルニ、北海道拓殖銀行ハ現在三十年トアル、此年度ヲ五十年ニ擴張シタト云フ希望デアリマシテ、政府ハ相當ト認メマシテ、此改正ヲ企テタノデアリマス、次ニハ耕地整理組合聯合會ノ貸付デアリマス、是ハ前段申述ベタ通りデアリマス、其次ニハ第八條ニ所謂聯帶貸付ト云フ場合ニ、現在ノ所二十人ノ同業者ヲ聯帶セシムルト云フ事ニナラテ居リマス、此二十人ト云フコトハ、動モスレバ多キニ過ギルノト、本條規定ニ依テ二十人ヲ集ムル爲メニ、實際信用ノ無イ名前迄羅列スルニ至ルト云フ銀行業者ノ意見モアリマシテ、十人ニ下シタノデアリマス、ソレデ北海道拓殖銀行此前三何等ノ改正ハナカッタガ、今回改正ヲ機會トシテ農工銀行等ノ權衡ヲ取ル爲メ、且ツ北海道拓殖銀行ノ希望モ容レテ、二十人ヲ十人ト改メマシタ、其次ハ債券ト云フ文字デアリマスガ、是ハ餘リ序デノ改正デアリマシテ、北海道拓殖銀行ノ發行スル債券ヲ、北海道拓殖債券トシテ、勸業債券、興業債券、農工債券等ト同一歩調ヲ取り、且ツ言葉ガ簡明ニナリマスカラ北海道拓殖債券ト改メルコトニ致シマシタ、其次ハ債券發行限度デアリマスガ、是モ前ニ申上デマシタ理由ニ依リ、五倍十倍ニ改メマシタ、其次ハ十五條ノ二項デアリマス、是ハ消滅事項ノ規定デアリマス、從來勸業銀行ノ元金ハ十五年、利子ハ五年ト云フコトヲ明記シテ居リマス、是モ拘ラス、北海道拓殖銀行ニハ、此規定ハナクデアリマス、故ニ今回之ヲ掲載スルコトニ致シマシタ、最後ニ上デ居リマスルノ興業銀行デアリマス、興業銀行ハ申上ゲルマデモナイコトデアリマスガ、是ハ勸業銀行、北海道拓殖銀行トハ聊カ趣ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、今回ノ改正モ前ニ申述ベタコトトハ、餘程趣ガ違テ居リマス、第一日ニハ其理事、總裁、副總裁ハ勿論デアリマスガ、理事ハ原則ト致シマシテ、總裁、副總裁ハ勿論デアリマスガ、認可ヲ得ナイトキハ、他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトガ出來ナイ、原則トシテ理事ハ專任デナケレバナラス、他ノ職務ニ從事スルコトガ出來ナイト云フノデアリマスガ、理事ノ中デモ所謂參與理事、銀行ノ業務ヲ分掌シナイ、即チ船舶金融ノ方ノ、船舶ニ經驗アル者ヲ採用シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、參與理事ト唱ヘテ居ルノデアリマス、是モ原則トシテ他ノ職務、他ノ商業ニ從事スルコトガ出來スト云フコトニナラ居リマスガ、他ノ職ニ從事シテ居ル者ガ船舶金融ノ事ニ經驗アル故ヲ以テ、之ヲ參與理事ニ採用スルト云フコトニナラ居ルガ、原則トシテ他ノ職ニ從事スルコトガ出來マセスカラ、今回理事ニ日本興業銀行事務ニ參與スル者ハ、此限ニ在ラスト云フコトニ改メ

ルノデアリマス、ソレカラ其次ニ興業債權ハ現在五十圓以上ニナツテ居ルノデアリマスガ、二十圓以上ト云フコトニ改メシテ、サウシテ賣出及割引發行ト云フ、此便宜ナル方法ヲ採用シタイド云フノガ、改正ノ趣旨デアリマス、現行法ニ依リマスニ云フト、興業銀行ノ債券ハ募集ノ方法ノミナナケレバ發行ガ出來ナイ、即チ賣出ノ方法ニ依ルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス、併ナガラ斯ク致シマスルコト云フト、經濟界ノ實情ニ於キマシテハ、洵ニ不便ヲ感ズルコトガ少クナイノデアリマス、即チ都鄙ヲ通ジテ遊金ノアル場合ニ於テ、此募集ナリ、或ハ賣出ナリ此兩方ノ方法ヲ適宜ニ實行スルコトニナリマス、遊金ヲ資本化スル實益ガアル、又併セテ貯蓄獎勵ノ一助ニモナラウト云フ、此實際ノ狀況ニ鑑ミマシテ、銀行當業者ノ希望ヲ容レテ、政府ニ於テハ勸業債券杯ト同ジヤウナ賣出方法ヲ新ニ認メルコトニ致スノデアリマス、向ホ從來割引ノ發行ト云フコトヲ認メテ居ラヌノデアリマス、是ハ大藏省證券杯ノ例ニ依リマシテ、割引ノ發行ヲ認メヤウ、御承知ノ通りニ此興業銀行ノ債券ハ興業銀行ノ資金ヲ得マス、殆ド唯一ノ手段ト申シテ宜イノデアリマス、ミナラズ、餘程興業銀行トシテ多額ノ資金ヲ要スルニモ拘ラズ、勸業銀行債券ノヤウナ割増トカ云フ便宜ナ方法ガナイノデアリマス、何等カ興業債券ノ募集ヲ容易ナラシムルコトニハ、政府トシテ當業者トシテ考ヘナケレバナラヌト云フヨリ致シマシテ、前段賣出方法ヲ改メマシタガ、向ホ割引ノ方法ヲ認メマシテ、金融市場ノ狀勢ガ長期債券ノ發行ノ利益ナリト、認メラル、場合ニ於キマシテ、此長期債券ヲ發行スルマデノ緊ギト致シマシテ、一時短期債券ヲ發行スル、斯ウ致シマスル、資金調達上頗ル便宜ヲ感ズル次第デアリマシテ、此趣旨ヨリ割引發行ノ方法モ認メルコトニ致シタノデアリマス、向ホ此賣出ニ關スル規定ノ十三條ノ二、十三條ノ三、十三條ノ四トシテ細カニ規定シテアリマスガ、是ハ勸業銀行法ノ規定ト全然同一デアリマス、商法ノ規定ノ精神ヲ汲ミマシテ、勸業銀行法ニ於テ賣出方法ニ就テノ規定ヲ設ケマシテ、其儘規定ヲ玆ニ挿入致シタ次第デアリマス、ソレカラ廻リマシマスガ北海道拓殖銀行ノ改正ノ中デ、一ツ申洩シタ事ガアリマス、北海道拓殖銀行ガ所謂餘裕金ヲ運用致シマスル場合ニ於テ、運用ノ順序トシテ、國債證券、地方債證券、又ハ社債券ト云フコトニ限ッテ居ルノデアリマス、之ヲモウ少シ擴張シテ貴ヒタイ、餘裕金ヲ運用スル途ヲ擴張シテ貴ヒタイ、ソレハ國務大臣ノ認可ヲ得タル有價證券ト云フコトヲ附加ヘテ貴ヒタイ、是ハ北海道拓殖銀行ノ基礎ヲ危クシナイト云フ確實ナル有價證券ニ就テ、大藏大臣ガ之ヲ認可スルト云フ制限ヲ置キマスレバ、心配モナカラウト云フ精

神ヨリ致シマシテ、大藏大臣ノ認可ヲ得タル有價證券ヲ買入レテ宜シイ、斯ウ云フコトニ認メタノデアリマス、ソレカラ第八條ノ三ノ改正デアリマス、俗ニ言ハレル普通貸付、御承知ノ通り、北海道拓殖銀行ハ、半バ不動産ト云フノデ、元來普通貸付、即チ平タク申セバ商業貸付ノ方面、不動産貸付ノ方面、此兩者ヲ比較致シマスル、普通貸付ノ方ハ不動産貸付ノ三分ノ二ヲ超過スルコトヲ得スト云フ制限ガアリマスガ、此北海道ノ經濟ノ實際ニ順應セシメルガ爲メニ、普通商業貸付ノ限度ヲ、モウ少シ高メル必要ガアル、丁度全然同一デアリマセヌガ、農工銀行ノ定期貸付ノ限度ヲ高メナケレバナラヌト云フト同ジ趣意デアリマス、現在三分ノ二ヲ超過スルコトヲ得スト云フノ同額迄行ケル不動産貸付總額ヲ超過スル不動産貸付迄行ケルト云フ風ニ擴張スルコト云フ當業者ノ希望モアリマシテ、政府モ其必要ヲ認メマシタノデ、此改正ヲ出シタノデアリマス、以上長々シク申述ベマシタコロノ要旨ガ、銀行條例法中改正ノ日本興業銀行法ニ至ル迄ノ要項デアリマス、新舊條文ヲ比較シマス、御覽ニナルニ隨分煩雜デアルヤウデアリマスガ、要スルニ是等ノ改正ヲ加ヘマスルコロノモハ、金融機關ノ制度ニ對スル根本的徹底ノ改善ヲ企トノデアリマセヌ、先ツ現在ノ銀行制度ハ維持スベキモノト、政府ニ於テ認メテ居リマス、又民間ニ於テモ根本的改革ハ希望シマセヌノデ、旁ニ經濟界金融界ノ推移ニ應ジテ成ベク便宜ナル改正ヲ取リタイト云フ精神カラ致シマシテ、玆ニ條文ニ手ヲ觸レタノデアリマス、向ホ特ニ勸業銀行、農工銀行等ニ就キマシテハ、サウ云フ次第カラ、懸案ニナツテ居ル事項ヲモ解決ヲ致ス次第デアリマス、無論慎重ニ御審議ヲ願フ譯デアリマス、ドウカ御賛成下サルヤウニ願ヒマス

○池田猪三三君 一寸質問致シマスガ、勸業銀行、農工銀行ノ拂込資本金、積立金ハ總テノ積立金額ヲ包含スルノデアリマス、法定準備金タケデアリマス、モウ一ツハ耕地整理組合ニ貸付ケルモノハ、共同施行者ガ連帶責任ヲ以テ、借用ヲ申出デタルトキハ、廣義ノ解釋ヲ以テ共同組合ニ貸付ケタルコトハアリマス、此二點ヲ伺ヒマス

○小野政府委員 從來耕地整理法ガ農商務省方面カラ改正サレタ思ヒマス、聯合會ト云フモノハ、其改正ニ依ッテ初メテ生レタモノト思ヒマス、從來耕地整理組合ニハ、聯合會ハナカッタ思ヒマス、當業者ノ希望ニ依リマシテ、外ノ產業組合ニ就テハ產業組合聯合會ト云フモノハ出來テ居ラナデアリマス、耕地整理組合聯合會ヲ取リマシテカラ、荷モ耕地整理組合其モノニ貸付ケスルナラバ、別ニ新ニ認メマス、ソレカラ積立金ハ法定積立金デアリマス

○木下成太郎君 是ハ何デスカ、出テ居リマス總テノ案ヲ通ジテ御尋シテ宜ウゴザイマス

○委員長(天春文衛君) 宜ウゴザイマス

○木下成太郎君 一寸伺ウテ見タウゴザイマスガ、勸業銀行法ノ二十九條、農工債券、北海道拓殖債券又ハ朝鮮殖產銀行ノ發行スル債券ニ改ム、是ハドウ云フ趣意ニナルカ、例ヘバ農工債券ガ五十萬圓ナラ五十萬圓アル、ソレハ各農行銀行カラ出スニハ、其五十萬圓ト云フモノハ勸業銀行ガ皆引受ケルノデアリマス

○小野政府委員 是ハ既ニヤツテ居ルコトデアリマス、例ヘバ大阪府農工銀行ガ此際五十萬圓發行スルト云フ場合ニ之ヲ一般ニ公募スルカ、或ハ勸業銀行ガ引受ケルニハ、勸業銀行トシテハ、自分ノ持ッテ居ル資金ヲ、農工銀行債券ノ引受ニドレタケ與ヘルコト云フコトヲ、前以テ計畫シテアリマス、サウシテ各農工銀行ニ割當額ヲ通知シテ居ル、貴方ノ銀行ノ公募ノ際ニハドレタケ受ケル、個々別ノ場合ニ此問題ガ起ルノデアリマス、全國ノ農工銀行ノ總額ハ、幾ラ、ソレハ一時ニ引受ケルト云フノデアリマシテ、各農工銀行發行スル其都度ニ、或場合ニハ公募シ、或場合ニハ勸業銀行ガ引受ケルト云フコトニナツテ居リマス

○木下成太郎君 此銀行法ノ改正ヲ、此場合ニ早ク解決スルト云フノハ、今日金融界ノ動搖及其他ノ救済ヲ爲サラウトスル、其趣意ノ上カラシテ出テ居ル思ヒマス、此四銀行ノ改正法ニ依リマシテ、金融ヲ悉ク調和シ圓滑ナラシムル見込ガ立チマス

○小野政府委員 此四ツノ銀行法改正ニ依リマシテ、今御尋ノ財界救済ト云フヤウナ目的ヲ達スル爲メニ之ヲ出シタト云フノデアリマセヌ、是ハ前ニ申上ゲル通りニ、前ミカラノ懸案ヲ寧ろ解決シタト云フニ過ギナイノデアリマス、併ナガラ此ノ改正ニ依リマシテ、金融界ノ緩和ト云フコトトニ就テモ、ドウ點ニ於テドウデアアルカト云フコトハ明ニ申サレマセヌ、ケレドモ矢張便宜ヲ與ヘルコトハ、思ヒマス、御尋ノ御趣意ハソレナラドウシテ此短期ノ議會ニ出スカ、ソレ程ドウシテ急速ヲ費フコト云フ御尋カ知レマセヌガ、前ミカラノ懸案デ此議案ニ於テモ既ニ論ジ來タコトデアアルベク此改正案ハ政府トシテモ、當業者トシテモ、少シモ早ク實現スル方ガ宜イ、次ノ議會迄待ツノハ誠ニ困ルト云フヤウナ理由デ、改正ヲ如ヘタノデアリマス、殊ニ初メノ銀行條例、是ハ玆ニ何モ辯ヲ弄スルノデアリマセヌガ、今度ノ金融界ノ動搖ニ就テハ、御承知ノ通り日本ニハ二千七百カラノ銀行ガアリマス、サウシテ地方ニ於テハ隨分孤立セル銀行モ存在シテ居ル、所謂小行分立ノ弊ガ著イノデアリマス、サウ云フ個々獨立セル銀行ハ、成ベク地方ハ地

方デ一團ヲスル、纏ッテ大キナ銀行トナル斯ウナルト地方ト
ノ聯絡ガ誠ニ好都合デアアル、斯クシマス金融機關ノ内容
モ充實サレヌ信用モ確實ニナルト云フコトニナルト、金融界
ニ動搖ノ起ツタル場合ニ、餘程抵抗力ガ強クナルト云フ點
ガ強カラウト思ヒマス、先刻前提トシテ申上デタ通り、各國
共銀行ノ合同ヲ盛ニヤル、我國ニ於テ數年來其傾向ガ顯
著ニナツタノモ、矢張サウ云フ趣旨ニ外ナラヌデアリマス、
斯ウ云フコトデ此際法律ヲ以テ明ニ致シマシタルコトガ直
動搖ヲ防グト云フ直接ノ効力ガアルト云フコトヲ、烏滸ガ
マシク申スコトハ出來マセヌガ、萬一將來ニ於テ經濟界ノ
變調ノ場合ニ於キマシテ、斯ウ云フ方法ヲ法律上認メテ居
リマスト云フコトハ、餘程都合ガ好カラウト思ヒマス

○木下成太郎君 朝鮮殖産銀行ノ如キモ、ドウ云フヤウ
ナコトデ立ッテ居ルカ能ク分リマセヌガ、北海道拓殖銀行ノ
如キハ、是初カラ畸形兒デアルガ故ニ、或ル部分ノ銀行法ノ
改正ヲシタルト云フコトデ、當リ前ノ銀行ニハナラヌ、ソレカラ
是等ヲ能ク調査審議スルト云フコトニナルト、幾多ノ議論
モアリマセウ隨テ根本ノ改善ヲ要スル點モ多クアラウト思
ヒマス、然ルニ此多事ノ時分ニ之ヲ御出シニナルノハ、是ハ
金融ガ梗塞シテ居ル時機ニ幾分力緩メノ途ヲ著ケルノニ便
ナルモノト政府ハ見テ、此臨時議會ニ御出シニナツタモノト
思ッテ居リマス、就キマシテハ此場合ニ於テ、私共ガ忌憚ナキ
御話ヲシマス、北海道拓殖銀行法ノ改正案ノ如キハ、幾
多ノ意見ヲ持ッテ居リマス、出來得ベク本根ノ改正モ
シテ見タイト思ッテ居ル、北海道拓殖銀行モサウデアレ
バ、朝鮮拓殖銀行モ、矢張サウ云フ趣意ダト考ヘテ居ル
ガ、朝鮮開發ト云フコトヲシヤウ、其時分ニ於テ朝鮮ノ
所謂産業政策、是ガドウ云フヤウナ方針ノ下ニ於テ遂行
セラル、カ、朝鮮ノ經營ト云フモノガ、ドウ云フ方針ニ於
テ、政治的ニ解決サルベキ行政法ガ動イテ居ル、ソレニ伴
フ金融機關ガ働イテ行カレバナラヌ、一面政治的解決
ヲ遂グルト共ニ、一面ニ經濟的解決ヲ遂グルノ方法デア
ル、此二ツガ平行シテ進展シテ相伴テ行カレバナラ
ヌ、朝鮮ノ統治ノ上カラ割出シタルモノニ從テ其銀行モ進
展シテ行カレバナラヌ、又北海道ニ於テモ其通りデ
アリマス、北海道ニ於ケル拓殖計畫ハ、是ハ御案内ノ通
リ十五箇年計畫ノ其上デ、北海道ノ計畫ガ先ヅ一段落
ヲ告ゲルノデアリマス、同時ニ政治的ニ其計畫ニ依ッテ解
決ガ著ケラル、ト共ニ、金融機關モ矢張併行シテ行カナ
レバ、經濟的ノ價值ハ著カヌ譯デアリマス、若モ其事ガ經
濟的ニ諸般ノ解決ガ著カヌト云フコトニナルト、如何ニ政治
的施設ノヲシ、解決ヲ遂ゲテモ、生産ガ之ニ伴ハヌコトニナ

ルト、隨テ政治的解決ヲ俟タ所ノ實ヲ結ブト云フコトガ出
來ヌ譯デアリマス、北海道拓殖銀行、及朝鮮殖産銀行
ノ内容總テト云フモノヲ調ベテ載セテナケレバ、私共實ハ贊
成シタクナイガ、此短期ノ臨時議會ニ御出シニナルト云
フノハ、當局ノ御方ノ深甚ナル御考ノ上カラ、財界ノ動搖
ヲ致シテ居ル、隨テ産業ガ萎縮シテ居リマス、之ヲ幾分カデ
モ救ハウ、此意味カラ急ニ是ハ御出シニナツタモノト思ヒマス
カラ、忍ンデ贊成ハシヤウト思ッテ居ル、就キマシテハ此改
成ニ依リマシテ、凡ソドレ位ノ金融ト云フモノガ著ク御見込
アルカ、ソレニ就テ御考ガアリマスレバ、承ッテ見タイト思
ヒマス、ソレカラ第三十四條日本勸業銀行ハ資本金四分ノ一
以上ノ拂込アリタルトキハ、拂込金額ノ十五倍ヲ限リ勸業債
券ヲ發行スルコトヲ得、是ハ二十倍ニ限ルト云フヤウナ譯
ニ行カナインデアリマス、若シ行カヌト云フコトニナレバ、ド
ウ云フ理由デアリカヌノデスカ、其説明ヲ承リタイ

○小野政府委員 木下君ノ御尋ト御意見モアリマシタガ
御話ノ通り矢張今回ノ改正ニ依ッテ金融ノ疏通ト云フコト
ニ就キマシテ、便利デアアルト云フコトハ、先程申シタ通り又
御述ニナツタ通りデアリマス、但シ此改正ニ供ッテドレダケ
金融ガ著ククツリ度程度ニ就テハ、是ハドウモ政府ニ於テ
モ、亦當業者ニ於キマシテモ、餘程御答ハムツカシカラウト思
ヒマス、先ヅ從業ノ態勢デアツタコトヲ之ヲ解決シテ金融界
ノ狀態或ハ經濟界ノ趨勢ニ應ズルト云フコトニ致シマスル
ト云フト、徐々ニ金融ヲ著ケルト云フコトニ與ッテ力アラウト
思ヒマス、併ナガラ之ニ依ッテ數百萬圓、數千萬圓或ハ如
何ナル點ニ於テ金融ノ緩和ヲ得ラレバ、ソレカラ勸業
銀行第三十四條ノ十倍ヲナセ、二十倍ニシナイデ、十五倍
ニ限ルカト云フコトハ、御九デアリマス、吾モ此點ハ贊成
シタイノデアリマス、然ルニ發行現度ト云フモノモ、其
財源ヲ得ルニ於テ成ベク便宜ヲ圖テヤルト云フ點ノミヲ考
ヘマス、或ハ成ベク多クスル方ガ宜イト云フ議論モ出ヤ
ウト思ヒマス、之ニ依ッテ又無闇ナ債務ノ發行ヲ許
スト云フコトハ經濟界ノ上ニ於テ如何デアアルカト云フ穩健
ナル點モ考ヘナケレバナラヌ、現ニ十倍デアアルガ、二十倍ニ
ルト云フコトハ、農工銀行ノ五倍ノモノガ十倍ニナル「プロ
ポーション」比例カラモ、丁度宜イヤデアリマス、少
シ突飛過ギヤシナイカト思ヒマス、外國ノ債券發行ノ限度
ヲ調ベルト、マア十五倍ト云フノガ普通多イヤデアリマス、
ドウモ此際同ジ比例ヲ以テ進ミマスノハ、ドンナモノデア
ウカト云フ所カラ、十五倍ガ相當デアラウトナツタ寧ろ是ハ
程度問題デ、認定デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○赤田一君 私ハ貯蓄銀行ノコトニ就テ伺ヒマス、貯
蓄銀行條例ニ依リマス、其第二條ニ於キマシテ三萬圓
以上ノ株式會社ニアラサレハ貯蓄銀行ノ業ヲ營ムコトヲ
得スト云フヤウナ條文アリマス、此度政府ガ銀行條例ノ
提出ヲ爲スニ方リマシテ、之ヲ機會トシテ色々ノ條項ヲ改
正サレマシタ、私共ハ貯蓄銀行ナルモノハ、獨リ私立ノ會社
ニノミ依頼セズシテ、市營デ貯蓄銀行ヲ營ム條項ヲ加ヘル
コトハ極デ必要ト思フデアリマス、如何トナレバ近時社會
政策ヲ唱道サレテ、殊ニ此度ノ増稅案ノ如キハ、社會政策
ヲ加味サレテ居リマス、市ハ社會政策ヲ遂行スルニ當リマ
シテ、隨分巨額ノ資金ヲ要スル譯デ、其資金ヲ得ヤウト致シ
マスレバ、市稅ニ依ルカ、將又一時公債ニ依ルカト云フコト
ニナラナケレバナラヌモノデアリマス、近時金融界ガ梗塞
シテ居ル今日デアリマシテ、市ガ自ラ貯蓄銀行ヲ經營致
シマシテ、詰リ營利的ナラザル方法ヲ以テマシテ、一面其貯
蓄銀行カラ集マル金ヲ資金ト致シマシテ、社會事業ヲ經營
スルト云フコトハ、極デ時勢ニ適シタモノデアリナイカ、ソレデ
私共ハ此改正ヲサレル際ニ、市ガ市營ノ貯蓄銀行ヲバヤルダ
ケノ法文ヲ加ヘテ費フト云フコトハ、頗ル希望スルコトデア
リマス、政府ハ此點ニ就テハ何等考慮ハナイノデアリマス

○小野政府委員 赤田君ノ御尋デスカ、其問題ハ私モ
曾テ耳ニシタルコトモアリマス、現ニ大阪市長ナシカモサウ云
フ意見ヲ持ッテ居ルコトヲ、私ハ個人的ニ聞イタルコトガアリマ
ス、一體貯蓄銀行ヲ市町村ニ於テ經營スルト云フ其趣旨
ハ、赤田君ノ御話ノ通り全ク之ヲ實行スルナラバ、社會政
策ノ見地ヨリシテ實行スルノ外ナイ、御承知アリマシセウ、
此點ニ於テ模範トナルノハ先ヅ獨逸デアラウト思ヒマス、獨
逸ハ千九百年以來市ガ質屋トサウシテ貯蓄銀行ヲ併セ
テヤリマシタルデアリマス、其沿革ガアリマシテ各都市ニ於
テ之ヲ經營致シテ居リマス、併ナガラ例ヘバ其直グ隣ノ地
地利ノ如キハ、ソレハ貯金ト云フコトニ就テハ、全ク郵便ノ
貯金ヨリ外ナイヤデアリマス、是等ハソレノ國情ニ依ッテ
沿革的ニ發達シテ參ルノデアリマシテ、社會政策ノ見地ヨ
リ申シマスルト云フ、確ニ一良法タルヲ失ハナイト、私モ
認メマス、併ナガラ日本ノ銀行法ハ、餘程先程赤田君ノ列
舉サレタル所謂市營主義ヲ執ッテ居リマス、若シ將來市町
村ノ公營モ許スト云フコトニ此貯蓄銀行制度ヲ改正スル
ト云フコトハ、是ハ餘程根本的ノ改造デアリマス、果シテ之ヲ
實行スルト云フコトニナリマス、種々ノ點ヲ考慮シ、
種々ノ制度ヲ研究シ、果シテ日本ノ國情ヨリシテ、其市町村
ノ經營ト云フコトガ適當ナルヤ否ヤト云フコトハ、頗ル慎重
ナル考慮ヲ要スルコトデアリマス、現ニ此公營質屋ナント
云フコトニ就テハ、是ハ臺灣邊リデハ實行シテ居ルヤウニ聞

第五類第九號 銀行條例中改正法律案外五件委員會會議錄 第二回
大正九年七月十二日

イテ居リマス、日本デモ或ル地方ニ於キマシテハ、長崎縣デアリマスガ、模範的ノモノカ出来テ居ルコトヲ聞イテ居リマス、貯蓄銀行ニ就テハ、勿論マダ前例ガアリマセヌガ、併シ市町村ニ之ヲヤラスト云フコトニナリマス、先ヅ第一ニ之ヲヤテ居リマス種々ノ方面ノ貯蓄銀行ト調和ハ如何ニスルカ、私人ノ經營ハ之ヲ禁ズルカ、或ハ市町村ハ競争ノ態度ニ出デ、マデ、此經營ヲ爲スカ、サウスト私人ノ民業ハ之ガ爲メニ、壓迫ヲ受ケルデハナシカト云フヤウナ問題モ起リテ、米ラダラウト思ヒマス、勿論赤田君ノ御趣意ノ存スル所ハ、御話ノ通り社會政策ノ見地デマリマスノゾ、確ニ攻究スベキ好題目ト思ヒマス、今此短議會ニ於テ、或ハ近キ將來ニ於テ此根本的解決ヲ得ルヤ否ヤト云フコトハ、直ニ御答致シ兼マスガ、十分御趣意ノ趣ハ含ムコトニ致シマス

○赤田 送一君 成程郵便貯金ノ例モ政府委員カラ御述ニナリマスガ、郵便貯金ノ如キ一種ノ副業デアリマシテ、郵便貯金ト云フコトハ副業デアリマシテ、決シテ市營ト致シマシテ、市ハ成ルダケ簡便ニ致シマシテサウシテ貯蓄ヲ獎勵スルト云フコトノ上カラ、其業務ヲ爲スノト、副業トシテ郵便局カ貯金ヲ獎勵スルトハ、其比較ト云フコトハ取レトイダラウト思フ、詰リ絶大ノ信用ヲ以チマシテ、市民ノ預金ノ取扱所ト云フヤウナモノヲ決マサスレバ、市民ハ確ニ銀行ニ貯蓄ヲスルヨリモ、簡便ニシテ且安心ヲシテヤルコトガ出来マシテ、此貯蓄ヲ獎勵スルト云フ趣意カラシマシテ、市ガヤルニ如クハナシト思フソレカラ之ヲ市町村全部ニ許スカ許サヌカト云フコトニ就テハ、多少ハ考慮ヲ煩ハサニヤナラヌト云フコトハ、私共モ考ヘテ居リマスガ、市町村全部ニヤルト云フコトニナラヌマデモ、自治ノ發達シテ居ル所ノ大市ニ、市營ヲサセルダケノ條例ヲ加ヘルト云フコトハ、極メテ時勢ニ適合シテ處置ト思フ、一面ニ於テハ私設銀行ニ打撃ヲ與ヘハセヌカト云フコトニナリマスガ、私設銀行トシテ所デ——私設ノ銀行デアリマス所ノ貯蓄銀行ト致シマシテ所デ、獨占デナクシテ矢張競争者ガアリマス、ソレデ現今アル所ノ貯蓄銀行ノ如キハ、支店ノ數ハ少シ、隨テ貯蓄銀行ニ預金ヲスルニ當リマシテモ、大邊遠隔ノ地ニ持ッテ行カナケレバナラヌト云フコトニナリマス、ソレデ貯蓄者ノ便利ヲ圖リ、貯蓄銀行ノ獎勵ト云フ趣旨カラ論ジマスレバ、市營ニ如クモノハナシト思ヒマス、デ假ニ私設ノ銀行ニ何程カ打撃ヲ與ヘラレト致シマシタ所デ、是ハ市民全體ノ便利ヲ圖ル上ニ就テ、餘儀ナイコト考ヘルノデアリマス、私設銀行ノ如キハ營利目的トシテ居リマス、市營ノ貯蓄銀行ト云フモノハ、決シテ營利目的トスルモノデハナシ、其預金ヲ以チマシテ社會的事業ヲナシ、一面預金者ニ於キマシテハ、多大ノ信用アルコト

デアリマシテ、預金者ハ極テ安心ヲシテ預金ヲスルコトニナル、今現ニ在リマス銀行ノ如キハ、大ナル金融界ノ恐慌ヲ來シマシタトキニハ、或ハ動搖シナイニモ限ラナイ、何レノ點ヨリ見マシタ所デ、市營ノ銀行ト云フコトハ、市營ノ貯蓄銀行ト云フモノハ、極テ必要ト考ヘル、ソレデ短期ノ議會デアアルカ、其事ガ出来ナイト云ヘバ、通常議會デモ宜イノデアリマスガ、今政府委員ノ御考ヲ承リマス、近キ將來ニ於テモサウ云フ事ハ、實現出来ナイモノノ如キ御口吻デアリマシタガ、私ハドウモ諒解ニ苦シム譯デアリマス、デ此際短期ノ議會デアアルカラ、サウ云フヤウナ事カ出来ナイト云ヘバ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマス、此改正案ニ加ヘルコトガ出来ナイト云フコトニナレバ、特ニ市營貯蓄銀行法案ヲ別途ニ御出シニナルカ、ドナラカノ方法ヲ用キネバナラヌモノト私ハ考ヘル、兎ニ角只今政府委員ノ御答ニ依リマス、確ニ耳ヲ傾クベキ所ノ問題デアルトハ言ウテ居ラレルノデアリマス、ケレドモ唯ダ私立銀行ニ何ボカ影響ヲ及ボスト云フ事柄ヲ主ナル理由ニサレテ居ル、是ハ貯蓄獎勵ハ政府ニ於テ唱道サレテ居ル事デアリマシテ、現ニ郵便貯金ト云フコトモヤテ居ラレルノデアアル、郵便貯金ヨリ一層便利ニシテ貯蓄獎勵ヲスルニ就テハ極テ適切ナモノデ、サウシテ金融界ノ動搖ガアリマシテモ、何等不安ノ念ヲ感ゼシメナイト同時ニ、自治體ガ其市民ノ貯蓄シマシタ金ヲ以テ、市民ノ便益ノ爲メニ社會事業ヲ營ムニ就キマシテハ、現今ノ私立銀行ニ多少ノ影響ヲ及ボシタ所デ、是ハ餘儀ナイモノト思フノデアリマス、唯ダ考慮ヲシテ見タイト云フ御話デ、マダ調査ニナラヌト云フコトハ、誠ニ私ハ感服シナイ譯デアリマス、此事ニ就キマシテハ政府ニ於テモ大ニ調査ヲセラレタイ只今政府委員ハ近キ未來ニ實現スルコトガ出来ナイモノ、如キ御口吻デアリマシタガ、サウ云フコトハ、二解釋シテ宜イノデアリマス

○小野政府委員 今赤田君ノ御尋ハ、主トシテ御意見ノヤウデスガ、私ハ今貴方ノ突然ノ御尋ニ對シテ、寧ロ私自身ノ考ヲ述ベタダケデ、從來公式ニ政府側ニ對シテ、サウ云フコトノ意見ヲ述ベラレタ市町村ガ、アルカドウカト云フ事スラ、私ハ餘リ承知シナイノデアリマス、ノミナラズ貯蓄銀行ヲ市營ニスル公營スルト云フコトハ、是ハ先程貴方ノ仰シヤタ通り、矢張社會政策ノ見地カラ出ル次第デアリマス、ソレデ現ニ例ヘバ社會政策ト云フコトニ就キマシテハ、先ヅ實際方面カラ見ルト、模範的デアアル言ハレルト英國ニ於キマシテ、此公營ノ貯蓄銀行ト云フモノハ無イノデアリマス、ソレデ先程申シタ通り、市營ノ貯蓄銀行ノ發達シテ居ルノハ、先ヅ獨り獨逸位カト思フ、社會政策ノ見地カラ言フデモ、直チニ社會政策トシテ善イコトデアアルカ、ドノ國デモ取ッテ宜イノデアアルカ、斯ウ云フコトハ餘程ムツカシイ問題ト思ヒマス、デ私

ガ近キ將來ニ於テドウカト云フコトヲ申上ゲタノハ、政府ニ於テマダソレ程調査モ進捗シテ居ルヤウニモ思ヒマセヌソレカラ普通ノ貯蓄銀行ノ民業ヲ壓迫スルト云フヤウナコトハソレハ寧ロ私自身即座ニ考ヘタコトヲ申上ゲタ次第デ政府トシテ民業ヲ壓迫スルカラ遣ラヌノデアルト云フヤウナ意味ニ於テ近キ將來ニ之ヲ出サストカ出ストカ云フノデハナイノデアリマス、赤田君ノ突然ノ質問ニ對シテ、寧ロ私ノ意見ヲ申述ベタ次第デアリマス

○太田 信治郎君 此問題ニ就テ、之ヲ通ジマシテ御質問致シタイト思ヒマス、ドウカ左様御承知ヲ……
○木下 成太郎君 此ノ方ガ先ニ發言ヲ願フノデス、私ノハ極ク簡單デス
○太田 信治郎君 此ノモ簡單デス、併シ御都合デ……
○木下 成太郎君 斯ウ云フコトニ願ヒタイ、色、御質疑モアルヤウデアリマシテ私共モ大分持ッテ居リマス、ソレデ要スルニ今銀行局長カラ御答辯下サイマシタ事項ニ關スルコトハ、ソレデ宜シイガ、政務上若クハ政策ノ上カラシテ……
○委員長(天春文衛君) 貴方ノハ議事進行ニ就テノ御意見デスカ
○木下 成太郎君 サウデス——ソレデ明日少クモ大藏次官ニ御出席ヲ願ヒマシテ、サウシテ此政策及銀行ニ對シテ政府ハドウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居ラレルカ、隨ッテ此改正案ニ向ッテ同意スルカ、同意シナイカト云フコト、ソレカラ先ヅ前ニ決メテ戴キタイト思ヒマス、大藏次官ノ出席ヲ求メテサウシテ能ク質問ノ上デ決メタイト思ヒマス
○小野政府委員 此ハ貴君ノ御希望ニ對シテ云々スル譯デアリマス、ドウ云フ意味デアリマス、現在金融界ノ窮狀ヲ緩和スルト云フ大方針ヲ先ヅ御承知ニナッテ、ソレニ依ッテ現在ノ改正案ヲ議シヤウト云フ御考デアリマスカ
○木下 成太郎君 サウデス
○小野政府委員 ソレナラバ其點ハ別ニ引放シテ戴キマセト、其大方針ノ決マルト決マラヌニ拘ラズ、是ハ私ハ曩ニ申上ゲル通り、他年ノ懸案デ寧ロ平タイ言葉デ云ヘバ常務ト云フデモ宜イト思ヒマス、經濟界ノ動搖云々ソレニ對スル應急處置ナリ、救済策ナリト云フコトハ、是ハ謂ハハ一時的事デ、勿論重大ナコトデアリマスガ、其方針ヲ大藏大臣ナリ大藏次官ガ如何ニ執ルカト云フコトノ實際問題ト離レテ、時局問題ト離レテ、其決定ノ如何ニ拘ラズ、此改正ハ是非其實現スベキ必要ガアルト、斯ウ認メテ朝野共ニ異存ナカラウト思ヒマス、ドウカ御聽キ下サルト云フコトハ、若シ出来得ル事デアリマスレバ、他ノ機會ニ於テ、御質問下サイマシテ、矢張此方ノ進捗ヲ圖ッテ戴ケバ、誠ニ好都合デアリマス

○委員長(天春文衛君) ドウデセウ、今木下君ノ御説モアリマスルガ矢張各案ニ就キマシテ成ベク御質問ヲ了ヘタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○太田信治郎君 私ハ大藏次官ノ出席ヲ求メテ、質問應答スルコトニ賛成デス、併シモウ十二時デスカラ今日ハ是デ打切ッテ、大藏次官ニ明日御出席ヲ願ッテ、ソコデ質問スルト云フコトニ諸君ノ御同意ヲ願ヒマス

○赤田瑳一君 私ハ大藏大臣ナリ内務大臣ノ御出席ヲ願ッテ其方針ヲ聽キタイト思ヒマス

○委員長(天春文衛君) ソレデハ明日ハ大臣カ次官ノ御出席ヲ願ッテ矢張十時カラ...

○村田虎之助君 私ハ目下ノ金融界ノ梗塞ヲ緩和サセルト云フ、御質問モアリマシタガ、是ハ極テ結構ナ御意見ノヤウニモ伺ッテ居リマスガ、私ハ此銀行條例ノ改正ト云フモノヲ以ッテ、直ニ金融界ノ梗塞ヲ緩和スル、ソレヲ以ッテ此條例改正ノ目的ヲ貫徹スルト云フニ於テハ、餘リ何カ懸離シテ居リハシナイカ、成ルベク此條例改正ニ就テハ、各員ノ申合セト云ヒマスガ、此改正ノ精神ニ則ッテ其範圍ニ於テ取纏メルコトニシテ戴キタイト云フ事ヲ希望スルノデアリマス

○太田信治郎君 ドウカ委員ノ決議ヲ尊重シテ、大藏大臣カ次官ニ是非共御出席ニナルヤウニシテ戴キタイト思ヒマス

○赤田瑳一君 私ハ内務大臣モ加ヘテ貫ヒタイ

○委員長(天春文衛君) ソレデハ今日ハ散會シマス

午後零時三分散會

大正九年七月二十二日印刷

大正九年七月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局